

事業所名	きつぱれっと西富井		支援プログラム		作成日	2025年	2月	7日
法人（事業所）理念	お子さん一人ひとりには、みんな違いがあります。また、お子さん一人ひとり、『できること』も違います。みんな違って、それでいいと思います。きつぱれっと西富井は、お子さんの持ち味、得意なこと、好きなことを尊重し、意欲的に取り組みながら、それぞれの『できた！』を大切に育てていく場所でありたいと思っています。							
支援方針	まずは『褒める』ことを大切にし、お子さん自身が、『嬉しい』と感じ、また『楽しい』と感じながら、成長できるよう支援していきます。お子さんだけでなく、保護者様の想いに寄り添い、お子さんにとりまく関係機関と協働し、ご家族様と共に、お子さんの成長を支援していきます。							
営業時間	8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	要相談 ※基本的にはご家族での送迎をお願いしています。
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>お子さんの興味・関心に合わせた教材や活動を用意し、定期的に通っていただくことで、お子さんの生活リズムを作るお手伝いをします。食具の使い方、衣服の着脱、保育園や幼稚園のお支度に必要な行動などを、スモールステップで習得できるよう支援します。パーティションを活用して、お子さんが活動に参加しやすい環境を作ります。絵や文字のスケジュール表、トークンシート、タイムタイマーなどを使って、予定をわかりやすく伝えます</p> <p>・ボタンの留め外し、ファスナーの開閉等（個別活動及び登園降園時の身支度での支援）・衣類の着脱等（個別活動及び排せつ時での支援）・手洗いの習慣（登園時及び排せつ後、おやつ時での支援）・道具《スプーン、箸、はさみ、鉛筆等》の操作（個別活動及びグループ活動、おやつ時の支援）・トイレトレーニング（排せつでの支援）・行動の切替え（個別活動及びグループ活動、おやつ、自由遊び時の支援）・部屋の構造化、掲示物や子どもへの指示等（環境整備の支援）</p>						
	運動・感覚	<p>着席して活動する時間と、床で遊ぶ時間を設けます。座った姿勢を維持しやすいよう、お子さんに合わせた椅子や机を用意します。サーキット運動やボール遊びなどの活動を通して、体の使い方や力の加減の仕方を学ぶ機会を作ります。おもちゃ遊びや道具を使った製作を通じて、目と手や体を一緒に動かす練習をします。</p> <p>・粗大運動としてサーキット運動等（グループ活動での支援）、ボール遊び《ボール投げやボール当て等》（グループ活動での支援）、微細運動としてひも通し、型はめ、ボタンの留め外し等（個別活動での支援）、制作活動として折る、ちぎる、切る、貼る等（グループ活動での支援）、プリント課題《めり絵、迷路、線なぞり、文字書き等》（個別活動での支援）</p>						
	認知・行動	<p>パズルやマッチング課題等、具体的な物や絵カードを使った課題を通して、物の機能、属性、形、色、大きさや重さなどの物の様子について、言葉と結びつけながら、抽象的な概念を学ぶ機会を作ります。数量や数字の順番など、数に関することを段階的に学べるようにします。平面や立体の様々な教材を使い、学習したことが日常生活に広がりやすいように工夫します。</p> <p>・パズルやタングラム、ブロック等の造形物を使った遊び等（個別活動、自由遊びでの支援）・型はめやマッチング（個別活動での支援）・数字、文字、ことば遊び（個別活動での支援）・かるた、カードゲーム等（グループ活動や自由遊びでの支援）・ルール理解を要する遊び（グループ活動での支援）</p>						
	言語コミュニケーション	<p>「聞く」「話す」というコミュニケーションの基盤を作ります。自分の発言が相手に受け止められる、相手の言うことに応じて行動したり発言したりすると相手が肯定的な対応をしてくれるという経験を通じて、コミュニケーションの楽しさを感じられるよう支援します。自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を身につけられるよう機会を捉えて支援します。言葉を聞いて行動することや、見たものや経験したことを言葉で表現することを学ぶ機会を作ります。言葉の理解・表現の課題を通して、日常生活で使える言葉の種類を増やします。同じ文字同士を合わせる、ひらがなをなぞる、単語を読むなど、楽しみながら文字に親しむ機会を設けます。</p> <p>・絵カード（個別活動、グループ活動での支援）・絵本（グループ活動、自由遊びでの支援）・ことば、文字等、言葉を用いたゲームや遊び（個別活動、自由遊びでの支援）、考えや自分の気持ちの表出（グループ活動、自由遊びでの支援）</p>						
	人間関係社会性	<p>療育者がお子さんの強みをたくさんみつけて肯定的な働きかけをすることで、他者と過ごす楽しさを経験してもらいます。活動や遊びの中で、相手の行動を模倣することを促します。ごっこ遊びやルールのある遊びに参加し、役割やルールに応じた行動を身につけ、集団に参加する準備をします。ゲームで負けた時、失敗した時、思い通りにいかない時に、気持ちを落ち着ける方法をお子さんと一緒に考えます。</p> <p>・ふれあい遊び（自由遊びでの支援）・おままごと（自由遊びでの支援）・見立て遊び、ごっこ遊び（自由遊びでの支援）・ソーシャルスキルトレーニング（個別活動での支援）・順番やルールのある活動、遊び（グループ活動での支援）</p>						
家族支援	必要に応じて、家族が支援の様子をモニターでみられるようにしています。また、困り事があった時には、送迎時やSMSを使っていつでも相談できる環境を整えています。				移行支援		必要に応じて、保育園、幼稚園でのお子さんの様子を見学したり、支援方針について、情報共有おこなっています。また、必要に応じて就学予定の小学校にお子さんの情報を伝えて連携を図っています。	
地域支援・地域連携	行政をはじめ児童発達支援センター、保育所など、関係機関がお互いに連絡を取り合い、子どもの発達をサポートするための具体的な方法を考え、行動していきます。				職員の質の向上		施設内研修の実施、及び職員の外部研修への参加を奨励しています。	
主な行事等	制作や課題活動にも季節に合ったものをその時々で取り入れるように工夫しています。							